



## 神戸・阪神地域

～都市と農村がともに歩む地域づくり～

神戸・阪神地域は、県庁所在地である神戸をはじめとする大規模な都市部と、昔ながらの農村部とが近接している地域です。鉄道網、道路網などの交通手段も発達し、都市部から車や公共交通機関の利用により30分程度で豊かな自然や農村風景に触れ合えます。

都市近郊という利点を生かし、消費者ニーズに対応した新鮮な野菜や果物を生産し、高い収益を目指す農家も少なくありません。また、ほ場整備率は県下の平均を上回り、ほ場整備した区域は生産性の向上だけでなく、都市近郊農地の無秩序な土地利用を食い止めるほか、緑豊かで多様な生物の住む安らぎの空間を提供しています。

『農』とふれあう機会は都市住民にとっても魅力的ですが、一時的なブームではなく、継続した取組によって都市住民に農村の魅力を伝え、都市と農村が一体となった地域づくりをめざしています。

また、神戸・阪神地域は多くのため池を有しています。受益者が減ったことにより管理不十分なため池も見られ、安全、安心な暮らしのために、地域住民の参画を得ながら地域ぐるみのため池保全の取組を進めています。

## 都市と農村のコミュニケーション

都市住民と農村の交流を図り、農村地域のすばらしさをより詳しく伝え、田植えや稲刈り、生き物調査などの体験型イベント、疏水やため池などの農業用施設をめぐるウォーキングイベント、ため池でのため池教室やクリーン作戦などの様々な取組を展開しています。

これらには都市部からも毎回多数の参加があり、都市住民が地域の農業や農業用施設を知り、環境・地域づくりへの理解を深め、農村環境の保全に一役買っています。



ため池クリーンキャンペーン（宝塚市・うえ池）

## 都市と農村との共存共栄

JR 福知山線相野駅（三田市）周辺は市街化調整区域と農業振興地域が混在していました。そのため営農の効率が悪いうえ、まとまった住宅地を確保しにくい状態でした。そこで、集落地域整備法を活用し、住宅地と農地を並行して整備することとしました。ほ場整備とともに、生み出される宅地(非農用地)には、菜園付き住宅を中心とした居住空間を創設します。



ほ場整備事業予定地区（三田市・相野地区）

阪神北部や神戸市北部、西部などで収穫される野菜や米は、鮮度や種類の豊富さから都市部の消費者から非常に高い評価を受けています。

平成24年度からほ場整備事業に取り組む玉瀬地区（宝塚市）では、従来の消費地だけでなく新名神高速道路（建設中）のスマートインターチェンジでも農産物を販売する計画です。このように、都市近郊ならではの販路を得て、地域の農業の発展と継続を目指しています。

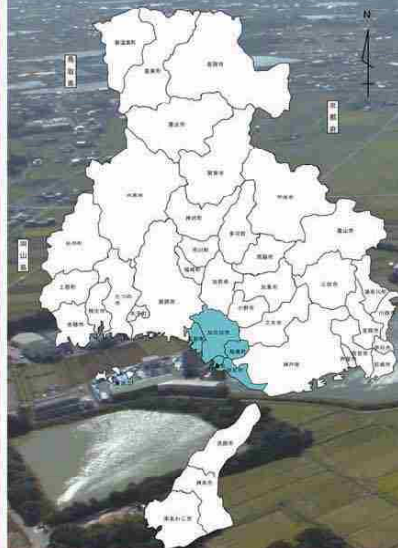


野菜の直売所

担当市町	お問い合わせ先
神戸市	兵庫県神戸県民局神戸土地改良センター 〒650-0004 神戸市中央区中山手通 6-6-1 TEL078-361-8560 FAX078-361-8561 koubetochikairyoku@pref.hyogo.lg.jp
尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市、三田市、猪名川町	兵庫県阪神北県民局阪神農林振興事務所 〒669-1531 三田市天神 1-10-14 TEL079-562-8912 FAX079-562-8805 hanshinnorin@pref.hyogo.lg.jp



いなみ野台地のため池群



## 東播磨地域

### ～いなみ野ため池ミュージアムの推進と魅力ある農村づくり～

東播磨地域は、明石市、加古川市、高砂市、稲美町、播磨町の3市2町からなり、阪神地域のベッドタウンとして発展し、混住化が進んでいます。都市部近郊の立地を生かし、キャベツは国の野菜指定産地、トマト、レタス、軟弱野菜は県の野菜指定産地となっています。

この地域は、農振農用地区域内の水田の約9割では場整備が実施され、県内で最高水準となっていますが、農作業の一層の省力化・効率化を図るための基盤整備、老朽化した基幹水利施設の保全や長寿命化に努めています。

また、降水量の少ない瀬戸内式気候に属しているため、地域中央に位置する「印南野(いなみの)台地」では、農業用水を確保するために、古くから多くのため池が築造されてきました。中には、県下で最大の「加古大池」や最古の記録を有する「天満大池」など約600のため池が密度高く存在し、その多くは農業用水路で深いつながりを持ち、自然景観や伝統行事など、固有の「ため池文化」を育んでいます。

ここでは“ため池協議会”(農業者、地域住民、NPO団体、学校・研究機関、企業などの多様な主体から構成)が、地域の貴重な財産であるため池群や農業用水路網に象徴される水辺空間を、守り、活かし、次代に引き継ぐとともに、水辺空間全体を“まるごと博物館”とする『いなみ野ため池ミュージアム』(ため池百選に選定)を展開し、ため池保全組織の活動支援を行っています。近年はかいぼり※による海への栄養分補給を通じた漁業者との連携やため池の流域治水への活用などに取り組んでいます。

※かいぼりとは・・・

ため池の施設点検に加え、水質浄化、外来種の駆除を目的に秋から冬にかけてため池の水を抜く行為

## 優良農地の確保とほ場の条件整備



大型機械の共同利用による  
効率的な営農を目指す八幡営農組合

効率的かつ安定的な経営体を育成し、良好な営農条件を備えた生産基盤を確保するため、ほ場整備を継続して推進しています。

また、加古川市の八幡町では、整備済のほ場における用水路のパイプライン化事業を実施するとともに、地下かんがいシステムの導入にも取り組んでいます。あわせて、「人・農地プラン」の策定や地域農業の担い手として平成17年に設立された農業生産法人八幡営農組合へ農地集積を図っています。

## 災害に強い活力ある農村づくり

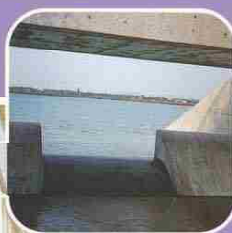
稲美町の加古大池や溝ヶ沢池では、下流の浸水被害を防止することを目的に、洪水調整機能を持たせる洪水吐が設置されています。

また、同町の入ヶ池や長府池では、台風等の大雨が予想されるときに、下流集落での浸水被害を軽減させるため、あらかじめ、ため池の水位を下げる取組を行っています。

この事前放流の取組が東播磨地域で広がりを見せ、明石市などでため池の事前放流を可能にする施設の整備を進めています。

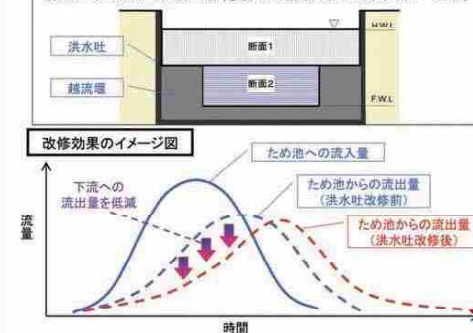


洪水調整機能を持った加古大池の洪水吐



### 加古大池洪水吐の改修による効果

改修後の洪水吐越流量は下図に示す複断面で、50年確率洪水量を断面2により流下させ、50年確率を超過する洪水量を断面1+2により流下させます。改修前と比べ、ため池からの流出時間を遅らせる構造になっています(イメージ図)。



(兵庫県総合治水条例関係資料より)

## 国営東播用水二期事業について

東播用水(受益面積 7,313ha)の幹線水路の1つである「淡河川・山田川幹線水路」の変状が著しく、早急な対策が必要となっています。そのため平成25年度から9年かけて水路の補修・補強を国営事業で実施するとともに、地区内のダムで小水力発電にも取り組みます。

また、東播用水の受益団体である東播用水土地改良区が、受益地内で施設管理を行っていた約130年の歴史を持つ兵庫県淡河川・山田川土地改良区を吸収合併する形で、新たな東播用水土地改良区が誕生します。

お問い合わせ先 兵庫県北播磨県民局加古川流域土地改良事務所 〒673-0423 三木市宿原字寺ノ前 70 番  
TEL0794-82-0520 FAX0794-83-6835 kakogawatr@pref.hyogo.lg.jp



鴨川ダム (加東市)

でんくまつり (西脇市)

## 北播磨地域

～元気な「農」と安心安全の「郷」づくり～

北播磨地域は、西脇市、三木市、小野市、加西市、加東市、多可町の5市1町からなり、県のほぼ中央部に位置し、加古川が貫流する田園地域で、豊かな自然、文化、歴史に恵まれています。水田面積が約12,000haで県下の約2割を占める穀倉地帯になっており、集落営農等による水稲・麦・大豆等の土地利用型農業が展開されています。特に日本一と呼び名の高い酒米「山田錦」は全国生産量の6割以上を占めています。

一方で当地域は降水量の少ない瀬戸内式気候に位置し、河川水利に恵まれないため古くからため池が多く築かれ、水の確保に苦労してきました。そこで、戦後の国営事業による加古川水系の水資源開発により数多くの農業用ダムや水路が築かれ、安定的な用水の供給が可能となり、北播磨地域の農業を支えています。これらの一部は歴史的文化的遺産として価値が認められ、東条川疏水は「疏水百選」に選ばれています。

また、加古川上流域には自然豊かで魅力ある田園空間が広がっており、その空間を屋根のない博物館「北はりま田園空間博物館」として、地域の有する魅力ある資源について情報発信しています。これらを通じて、都市と農村の交流に取り組み、農業や農村環境の大切さを伝え、田園空間の保全につなげています。

## 元気な「農」づくり

北播磨地域の農地は、早くから整備が進み、ほ場整備率が8割を超えていますが、引き続き未整備地のほ場整備の推進に取り組むとともに、「人・農地プラン」の作成を進め、恵まれた条件を活かして低コスト・大規模営農により競争力のある経営体を育成します。



女性オペレーター（小野市）



大規模営農(加西市)

## 安全安心の「郷」づくり

### 水利施設の整備・保全

北播磨地域には、農業用ダム全国第1号の「鴨川ダム」をはじめ、東条川地区・加古川西部地区・東播用水地区など、ダムを中心に多くの水利施設が造成され、大規模な水利ネットワークを形成しています。しかし、これら施設の多くは老朽化しつつあることから、計画的な更新や施設の長寿命化に努めています。

また、「東条川疏水」など歴史的文化的遺産としても重要な水利施設を地域の財産として将来に引き継いでいくため、地域や学校による学習の場として活用するとともに、疏水ウォーキングなど地域全体で保全する取組を行っています。



疏水めぐり(東条川疏水)

### ため池の整備・保全

北播磨地域には約7,300カ所のため池があり、比較的大規模なため池が多いのが特徴です。近年、ため池の老朽化や維持管理能力の低下により、ため池の決壊の危険性が高まっています。そこで、災害の未然防止を図る「北播磨のため池安全・安心プロジェクト」として、ため池管理者に対して防災意識の向上と点検手法等の習得を目的とした「ため池安全講習会」や、ため池実態調査を実施しています。また、実態調査の結果から何らかの不具合が見られた池では、その対策に取り組んでいます。



ため池安全講習会（加西市）

### 地すべり防止対策

県内の農林水産省農村振興局所管地すべり防止区域の約半数が北播磨地域に存在するため、地すべり防止対策協議会を開催し、地域一丸となって地すべり災害の防止に取り組んでいます。

お問い合わせ先 兵庫県北播磨県民局加古川流域土地改良事務所 〒673-0423 三木市宿原字寺ノ前 70 番  
TEL0794-82-0520 FAX0794-83-6835 kakogawatr@pref.hyogo.lg.jp



## 中播磨地域

### ～地域の力がつむぐ“元気”な中播磨づくり～

中播磨地域は、兵庫県南西部に位置し、姫路市、神河町、市川町、福崎町の1市3町からなり、北は中国山地に接する中山間地域から南は播磨平野まで、多様な自然環境、地域資源を有しています。

年間を通じて比較的温暖少雨ですが、冬期は北部が日本海型気候の影響を受けるため、年降水量はやや多くなっています。農作物では、レンコン、タケノコ等の地域特有の伝統的な野菜や、小麦、小豆等の土地利用型作物の生産がさかんです。

中播磨地域の農業基盤整備は、昭和30年代後半から行われ、用排水路等の農業用施設の老朽化が進んでおり、これらの施設の長寿命化等を進めていくことが必要となっています。

また、地域に数多く実在するため池について、決壊による洪水等の災害を未然に防止するため、改修等を行っています。あわせて小学生を対象に「ため池教室」を開催し、農業や農村環境の大切さとため池の役割や、ため池周辺の水生动植物の学習とともに水難事故に対する注意喚起も行っていきます。

さらに、「銀の馬車道」を中播磨地域の南北交流促進のシンボルとして掲げ、多彩な交流と地域の活性化をめざして様々な事業を展開しています。そのなかでも、“銀の馬車道ため池ウォーキング”は、ため池百選に認定された「西光寺野ため池群」をめぐることにより、地域の人々によって守られてきた農村環境の公益性について都市住民が理解を深めるまたとない機会となっています。

「地域の力がつむぐ“元気”な中播磨づくり」をめざし、歴史・文化、自然など地域資源や人々のネットワーク化による交流やにぎわいを創出するとともに、都市住民の農村部への理解と農村環境保全活動への参画を期待しています。

※「銀の馬車道」とは・・・

明治の初めに造られた、生野銀山と飾磨港の間49kmを結ぶ道路。近代化遺産として認定されている。

## 水利施設の保全



西光寺野疏水

(市川町・岡部川より取水した用水は山中を通過して福崎町、姫路市まで運ばれます)

平成 21 年に近代化産業遺産に認定された西光寺野疏水は延長約 8.8km の日本を代表する用水路で、先人が知恵を出し、トンネルや山際を抜け、ため池へと通じています。これらの施設を、「ストックマネジメント」により適切な時期に補修、更新を行い、大切に使い守り続けていきます。



大正3年に造成された水路トンネルの様子  
(老朽化が進んでいます)

## 地域づくり

中播磨地域では、地域住民が地域資源や魅力を再認識して集落の将来を話し合い、考える地域づくりを行っています。「美しいむらづくり」、「地域の誇りづくり」、「地域文化の発信」、「地域経済の活性化」に向けて、都市農村交流に取り組む集落活動を支援し、都市住民を農村に受け入れ、農村を守る活動を展開していきます。



ふるさとむら坂戸(市川町 坂戸地区)

高齢化が進んだ農村部と都市部からの農村ボランティアの交流に取り組んでいます。

中播磨地域は都市と農村が近接しており、こうした活動を積極的に推進しています。

### 神河町 新野地区

以前利用していた木製水車を、地域住民が話し合い、共同作業で製作復元しました。これらの活動は、地域コミュニティの強化につながり、今では住民自ら交流活動について企画実行しています。さらに豊かな水資源を利用した再生可能エネルギーの導入も検討するなど地域活動が発展しています。



お問い合わせ先 兵庫県中播磨県民局姫路土地改良センター 〒670-0947 姫路市北条1丁目98番  
TEL079-281-3001 FAX079-284-5644 himejitochikairyou@pref.hyogo.lg.jp





中山間地域における景観保全(佐用町)

## 西播磨地域

### ～ 水と緑の郷づくり ～

西播磨地域は、相生市、たつの市、赤穂市、宍粟市、太子町、上郡町、佐用町の4市3町からなり、清流「揖保川」、「千種川」が南北に流れ田畑を潤し、温暖な気候と相まって豊かな水と緑に恵まれた地域を育んでいます。

これまで集落を中心にした地域農業の活性化を図るため、農業の組織化を目指す集落に対して、関係機関と連携して集落営農組織の設立を進め、地域の特性を生かした力強い農業を展開してきました。

また、安定した農業生産活動、生産性の高い農業の維持のために生産基盤の整備も行われてきましたが、食料自給率の向上にむけ、麦・大豆等の生産振興を一層進めるため、畑作にも利用できる水田の汎用化や、中山間地においては地形にあった整備を行うなど、個々の特性に応じた整備が必要となっています。

管内のすばらしい田園風景は元気な農業の営みと、それを支える農地や水路などが健全に保全されることにより形成されてきました。これらの風景が将来にわたり守り育てられることを目標とする「西播磨ふるさとの風景づくり」を推進し、農業用施設等の整備や集落へのサポーター派遣なども支援しています。

あわせて中山間地域では都市部からの農村ボランティアとともに、草刈り、農作業体験などに取り組むことで、棚田をはじめ農村の美しい景観保全につなげています。

## 担い手の要望に即した整備

たつの市新宮町笹野地区では、農業者の高齢化や後継者不足が深刻な問題となってきたため、地域で協議を重ね、ほ場整備を実施するとともに、農業生産法人「(株)ささ営農」を設立しました。

現在(株)ささ営農は、減農薬・減化学肥料栽培を進めており、うるち米で「ひょうご安心ブランド」を取得するとともに、食品会社との契約栽培（バジル）にも取り組んでいます。また、高タンパク小麦「ゆめちから」の生産性向上や作付の拡大を図り、地元醤油製造メーカーと連携して地産地消を推進するため、地下かんがいシステムの導入を予定しています。さらに、地場産の大豆を加工した味噌や厚揚げ、農産物を活かした弁当等加工品の製造に取り組んでおり、農業者が生産から加工・販売等までに及ぶ6次産業化を目指しています。



県営ほ場整備事業(たつの市・笹野地区)

## 安全・安心な農地保全

### 既存施設の“有”効活用

西播磨地域におけるかんがい用水の多くは、揖保川や千種川などの頭首工から取水しており、営農するためには頭首工の保全が欠かせません。

そのため、西播磨地域では今後赤穂市有年地区の中山頭首工をはじめ、これら頭首工等を「ストックマネジメント」により、施設の機能低下を防ぎ、長寿命化を図っていきます。



兵庫県管理施設 中山頭首工 (赤穂市)



改修後の海岸



海岸保全施設 (赤穂市福浦地区)

津波防災訓練

### 農地を保全し “福”ある地域へ

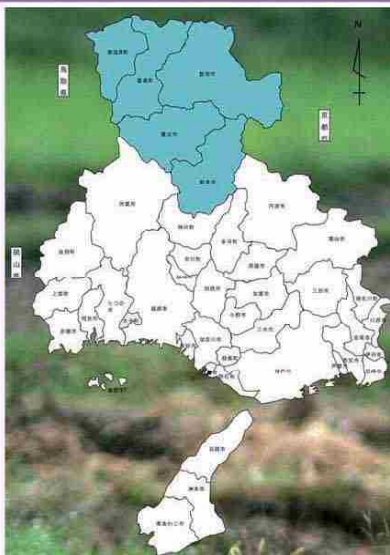
赤穂市福浦新田地区では、海岸保全施設整備事業による海岸堤防の整備を実施しました。また住民の参画を得て、地域づくり計画「龍神の郷構想」を策定し、堤防により背後地の農地を守るだけでなく、本構想に基づき、避難訓練や都市農村交流ウォーキングなどを意欲的に行い、地域の活性化も図っています。

お問い合わせ先 兵庫県西播磨県民局光都土地改良センター 〒678-1205 赤穂郡上郡町光都 2-25  
TEL0791-58-2100 FAX0791-58-2324 kototr@pref.hyogo.lg.jp

## 水田魚道で獲物を狙うコウノトリ



冬期湛水とコウノトリ



戸島湿地整備(豊岡市)

## 但馬地域

### ～豊かな自然の中で「農」を支える～

但馬地域は県北部に位置し、日本海と中国山地に囲まれた豊かな自然のなかで、素朴であたたかな農山漁村文化が育まれ、高原や溪流、棚田や里山林等、日本のふるさとの原風景とも言える風土・資源に恵まれています。

農業においては、『ひょうごの安全・安心な食料基地「たじま」の自給力の強化』を目標に掲げ、“コウノトリ育む農法”等環境に配慮した生産方法を実践する県民の信頼に応え得る安全・安心な農産物の供給拠点をめざしています。

そのため、水田魚道など地域の生態系に配慮した農業基盤整備を行うとともに、農地や老朽化している井堰、水路などの農業用施設を適切に保全・管理できるように改修を進めています。

また、この地域においても過疎化・高齢化が進み、農地農業用施設の管理不足に起因する災害発生が懸念されており、災害に強い農山村の構築を目指し、地域住民と行政が一体となって、安全な生活環境を確保するため、防災施設の設置・補修など防災対策を進めています。

## 農業用施設の適切な保全・管理

但馬地域では、農業用水の多くを河川から取水していますが、周辺社会状況の変化に伴い不備が生じた施設があるため、井堰、樋門などの農業用河川工作物やそこから農地へつなぐ水路を改修し、洪水等による災害を未然に防止します。



夢川堰完成イメージ図

たてがわせき  
夢川堰は一級河川円山川の豊岡市日高町に位置し、明治3年に建設された固定堰です。老朽化が著しく洪水時には河川堤防に悪影響を及ぼす恐れがあるため、平成20年度から県が事業主体となって施設の改修を進めています。改修にあわせて、魚類をはじめ多種多様な生物が遡上できるよう5タイプの魚道を堰全面に整備しています。



夢川用水路（豊岡市）

改修後

改修前

また夢川堰と水田をつなぐ夢川用水路は、改修後50年以上経過し、コンクリートの劣化が著しく、水路としての機能が低下しています。このため、ストックマネジメント事業を活用して機能保全計画を策定し、平成21年度から改修を進めています。

## 安全・安心な農地保全

但馬地域の地すべりは、地すべりブロックが大きく、すべりの位置が深いため、集水井（地下水が集中している付近に縦井戸を設置して、地下水を集水及び自然排水させる井戸）や水抜きボーリング（横向きにボーリング孔をあけ、地中内部の地下水を排出させる）などの地下水排除工が対策に用いられてい



地すべりによる崩落状況  
（朝来市・さのう地区）



集水井（養父市・別宮地区）

ます。

これらの対策工事により、地域の安全度を高めています。

担当市町	お問い合わせ先
豊岡市、香美町、新温泉町	兵庫県但馬県民局豊岡土地改良センター 〒668-0025 豊岡市幸町 7-11 TEL0796-23-1001 FAX0796-24-8051 toyookatochikairyuu@pref.hyogo.lg.jp
養父市、朝来市	兵庫県但馬県民局朝来土地改良センター 〒669-5202 朝来市和田山町東谷 213-96 TEL079-672-6892 FAX079-672-0489 asago@pref.hyogo.lg.jp

丹波ブランドを育む篠山盆地



東芦田ふるさとむら(丹波市)

## 丹波地域

～豊かな食・緑を育む丹波の里づくり～

丹波地域は兵庫県の中東部に位置し、<sup>ささやま</sup>篠山市と<sup>たんば</sup>丹波市の2市からなっており、京阪神から約50kmと大都市圏にも近接していることから、気軽に訪れることのできる農村地域として親しまれています。

霧の発生日数が多く、昼夜の寒暖差が大きいという特有の気候を活かして、米・丹波黒大豆・丹波大納言小豆・丹波栗・山の芋・松茸等の特産物が「丹波ブランド」として生産されています。

農業生産基盤の整備は県下でも早く、昭和40年代からほ場整備や農業用ダムの造成に取り組み、昭和50年前後をピークに大部分を整備した結果、ほ場整備率は約9割と県平均(8割弱)を大幅に上回る優良な農地を整備してきました。

しかし、高齢化・過疎化による農業従事者の減少や農業水利施設の老朽化が課題となっており、今後は優良農地を地域で保全する集落営農組織や、大規模経営農家の育成を促進するとともに、施設の適切な保全・整備と用水のパイプライン化などの計画的な施設整備を進める必要があります。

また、この地域は農地・水保全管理支払交付金制度への取組率が県下でも高い地域の1つであり、この制度を活用して、施設の維持管理を行う共同活動に積極的に取り組んでいます。

さらに、「ふるさとむら」\*活動を支援し、都市農村交流を展開しています。丹波地域は兵庫県下でこの活動に取り組む農村の約1/3を占めています。交流の盛んな地域であり、この活動を通じて丹波ファン・農村ファンが増えることを期待しています。

※「ふるさとむら」とは・・・

都市住民がボランティアで中山間地域の農村における農作業、農道・水路などの維持管理、伝統行事の実施などの活動を通じて、農村を開かれたふれあいの場とする取組です。

## 農業水利施設の機能保全

丹波地域6カ所の農業用ダムをはじめ、井堰や用排水路などの農業水利施設の多くは築造後相当の年数が経過し、老朽化が進んでいるため、維持管理労力が増大しており、農家の負担となっています。そこで、施設規模や劣化状況に応じてストックマネジメント事業等を活用し、施設の長寿命化を図り、ライフサイクルコストを低減しています。

また丹波地域は、末端施設について、農業者以外の地域住民の参画も得た「農地・水保全管理支払交付金制度」を活用した保全・整備に積極的に取り組んでいます。



ストックマネジメント事業 揚水機(丹波市)



農地・水保全管理支払交付金制度を活用した  
保全活動(丹波市)

## 営農形態に適したほ場の整備

丹波地域では、ほ場整備を実施した地区において、さらなる維持管理や営農労力の省力化を図る必要が生じています。施設の更新に合わせて用水路のパイプライン化を進めるなど、今後の多様な営農形態に適したほ場の整備を推進し、丹波ブランド農産物の生産に大きく貢献しています。



現状(開水路)



施工中(パイプライン)



## 知って得する丹波のまめ情報 ~丹波黒大豆がおいしいわけ~

丹波黒は大きい!… 百粒重で80~90グラムと世界でも類のない大粒!(一般の大豆は30グラム程度)

丹波黒は強く美しい!… 煮れば皮が破れにくくよく膨らみ、漆黒の色つやと広がる芳香、  
もちもちとした食感が極上!

丹波黒は二刀流!… 10月上旬からエダマメとして収穫すれば、煮豆とは違った豊かな  
ボリューム感と深いコク、独特の風味が味わえます!

丹波黒は育ちがよい!… 篠山盆地は、昼夜の寒暖差が大きい上、  
土壌が栄養分を多く含んでおり、立派な黒大豆を育てます!



お問い合わせ先 兵庫県丹波県民局篠山土地改良事務所 〒669-2341 篠山市郡家 451-2  
TEL079-552-2811 FAX079-552-5576 sasayamatr@pref.hyogo.lg.jp

三原平野でのたまねぎの収穫



農道ターン(南あわじ市・幡多地区)



## 淡路地域

～「農」を先導する<sup>みけつくに</sup>“21世紀の御食国”づくり～

万葉の昔から「<sup>みけつくに</sup>御食国」として栄えてきた淡路島。海山の幸を朝廷に納め、御井の清水は天皇の飲料水となるなど、新鮮で良質な食材の生産拠点としての歴史を刻んできました。淡路島は洲本市、南あわじ市、淡路市の3市からなり、県内の農業生産額の約 1/4 を産み出す農業の盛んな地域であり、今後も安全な食料を安定的に供給する生産拠点として重要な役割を担っていきます。

しかし、狭小な区画での農作業や複雑な水利形態での水管理、さらに近年の過疎化・高齢化による担い手不足や、農業用施設の老朽化などの問題を抱えています。

このため、地域の営農に即したほ場整備を実施して省力化・効率化を図り、あわせて地域農業の担い手を育成するとともに、老朽化した農業用施設等を更新、整備し、安全な食料を安定的に供給できるよう生産基盤の整備を実施します。

また淡路島は、北部の花崗岩地帯や南部の中央構造線沿いに発達したもろく急峻な地形であり、豪雨等による土砂災害を受けやすい地形・地質となっています。さらに島内には県下の半数を超える2万3千カ所のため池が存在し水利組織(田主)により管理されていますが、その多くは江戸時代以前に築造されたため池であるため、近年老朽化が進行しています。このため、防災施設の整備や既存施設の予防保全を進めるとともに、地域住民と行政が一体となった総合的な防災・減災対策に取り組みます。

## 生産性の高い農業基盤の整備

### ほ場整備の推進

淡路地域では、整備率が県下平均を大幅に下回っており、南部を中心にほ場整備を進めています。南部の三毛作地域では、20 アール区画や農道ターン方式など、野菜作に適したほ場整備を実施しています。また、北部の中山間地域では、ほ場整備を契機とした新たな担い手の育成や営農組合設立などにより、効率的・安定的な営農を目指します。

### 広域農道(オニオンロード)の整備

南淡路を中心とした優良農業地帯の物流ネットワークの中心を担うオニオンロード(南あわじ市阿万上町から洲本市千草を結ぶ延長 19.6km の農道)を整備し、快適で安全な農業交通を確保します。

鮎屋夢大橋(オニオンロード)(洲本市)



## 地域資源の保全・活用

### 農業水利施設の機能保全

淡路地域では古くから水利施設を整備してきましたが、近年老朽化が進んできたため、計画的に機能診断を行って、長寿命化を図るための機能保全計画を策定し、効果的な保全整備を推進します。

### 農地・水保管理支払交付金の取組

淡路地域では、ため池の保全・管理活動(草刈り、かいぼり、環境学習など)を積極的に支援しています。



排水機設備の機能診断(南あわじ市・塩屋地区)

## 災害に強いたため池づくり

### 災害を未然に防ぐため池づくりの推進

平成16年、平成23年の台風豪雨により多くのため池が決壊するなど甚大な被害が発生しました。

そのため、決壊の恐れのあるため池の改修や、ため池点検講習会を実施し、災害を未然に防ぐため池づくりを推進します。

### ため池・里海交流保全活動の推進

ため池の適正な維持管理と海への栄養分補給を目指し、ため池管理者と漁協者が連携したかいぼりを推進します。



ため池・里海交流保全



ため池点検講習会(洲本市・大寺池)



漁業者と連携したかいぼり(淡路市・一谷池)

お問い合わせ先 兵庫県淡路県民局洲本土改良事務所 〒656-0021 洲本市塩屋2丁目4-5  
TEL0799-22-3541 FAX0799-22-2510 sumototochikairyou @pref.hyogo.lg.jp







## ひょうごの農業農村整備

平成25年3月

発刊：兵庫県

編集：兵庫県農政環境部農林水産局農地整備課

〒650-8567（県庁個別番号）

神戸市中央区下山手通5丁目10-1

TEL 078-341-7711（代表）

FAX 078-341-2101

URL <http://web.pref.hyogo.lg.jp/>